

### 3 到達度目標

#### (1) 国語科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	朝のりレー 竜 「自分新聞」をつくる ろう		聞きひたることで、詩の世界を豊かに思い描くことができる。
			群読の工夫をして物語の楽しさを味わっている。
			登場人物の性格や気持ちをとらえることができる。
			手紙を書くことを通して主人公の考え方・生き方を見つめることができる。
	クジラの飲み水 討論ゲームをしよう		自らの姿を多角的にとらえ、自分らしさを紹介するためにわかりやすく表現することができる。
			読み手にわかりやすく伝えるために工夫された展開や構成をとらえることができる。
漢字の学習		指示語について理解し、本文中の指示語が指し示している内容をとらえることができる。	
		異なる立場の相手の考えや思いを理解し、自分の発言ができる。	
2	アイスキャンデー売り、ことばのまとまり・文の組み立て		漢字練習に進んで取り組み、身につけようとしている。
			新出漢字の読み書きができ、成り立ちについて理解できる。
	玄関扉 レポートを書こう		「この小さな地球の上で」と聞き比べて、自分たちが考えるべきことについて書いている。
			ことばの単位や文節の働き、文の組み立てについて理解できる。
	わたしたちと古典 - かぐや姫物語 矛盾 - 故事成語		立ち止まり読みを聞き、質問に対する自分なりの考えを持っている。
			玄関扉に関わる日本と欧米の文化の違いについて、対比的に理解することができる。
			興味・関心のあることについて調べたことを整理し、レポートを作成することができる。
			古文を歴史的仮名遣いや意味のまとまりに注意しながら繰り返し音読し、暗唱している。
	空中ブランコ乗りの キキ		古人のものの見方や考え方を、自分のものの見方や考え方とひかしくしながらとらえることができる。
			故事成語の由来を理解し、ものの見方や考え方を広げることができる。
漢字の学習		ミニ故事成語辞典を作り、自分の表現に生かすことができる。	
		キキの生き方についての討論ゲームで、相手の意見を意識して自分の発言をすることができる。	
3	単語のいろいろ・名詞 書き初め		様子を表すことばや比喻について理解することができる。
			新出漢字を正しく読んだり書いたりし、漢字の部首について理解することができる。
	食感のオノマトペウソ		単語の類別や名詞の性質について理解することができる。
			文字の配置を考え、伸び伸びと書くことができる。
	トロッコ スピーチで振り返ろう		擬態語・擬音語に関心を持ち、進んで集めることができる。
			調査方法や調査結果を読み取り、筆者の主張をとらえることができる。
漢字の学習		詩の主題を読み取り、自分の考えを書くことができる。	
		主人公の心情の変化を、場面の展開に沿って読み味わうことができる。	
		物語の主題を踏まえて、感想を書くことができる。	
		話題を意欲的に探し、スピーチメモにまとめることができる。	
		聞き手を引きつける工夫をして話したり、友達のスピーチを聞いて助言したりできる。	

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	未知へ 小さな手袋		二種類の朗読を聞き比べることができる。
			場面の展開に即して情景をとらえ、登場人物の会話や行動から心情をとらえることができる。
	短歌の世界		登場人物の考え方や生き方について感想を持つことができる。
			気に入った短歌を選び、鑑賞文を書くことができる。
	ホテルの里づくり 漢字の学習		短歌の特徴に注意して読み味わうことができる。
			具体的な事実をとらえ、筆者の意図を明らかにして考えを深めることができる。
2	ポスターセッション をしよう		新出漢字を正しく書くことができる。
			効果的、印象的でわかりやすいポスターを作ることができたか。
	心のバリアフリー		調べたことに対する自分の意見を持ち、伝えることができる。
			筆者の立場や主張を読み取るとともに、文章構成を把握している。
	平家物語 - 敦盛の最期		心のバリアフリーについて自分の意見を書くことができる。
			古文独特の表現の仕方や登場人物の心情を生かした朗読を工夫することができる。
漢詩の世界		古文の内容を理解し、登場人物の心情を読み取ることができる。	
		漢詩独特のリズムを感じ取り、進んで暗唱しようとしている。	
動詞・形容詞・形容 動詞 方言と共通語 漢字の学習		漢詩に描かれた情景を想像し、心情を味わうことができる。	
		用言の働きや活用の仕方について正確に理解している。	
走れメロス		地域の方言について意欲的に調べたり考えたりすることができる。	
		方言分布図を参考にして意見文を書くことができる。	
書き初め、副詞・連		新出漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。	
		登場人物の心理の変化を的確にとらえ、人間のあり方について考えを深めることができる。	
		自分自身の問題意識に従って課題を選択し、根拠の確かな文章を書くことができる。	
		行書の特徴を理解し、字形や配置を考えて書くことができる。	

3	体詞・接続詞・感動詞	副詞・連体詞・接続詞・感動詞の性質について理解することができる。
	枕草子 徒然草	古文のリズムを味わい、進んで暗唱しようとしている。 古語の意味や働きに注意して、作者のものの見方や考え方を理解することができる。 自分の季節感または美意識を文章に表すことができる。
	対話を考える	自分の体験をもとに考えたことをスピーチすることができる。
	漢字の学習	新出漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	ことばが輝くとき		筆者の言葉に対する考え方を読みとることができる。 表現の工夫の効果を考えながら手紙を書くことができる。
	俳句の世界		俳句の約束事や表現の特徴を理解し、味わって読むことができる。 気に入った俳句の感動の中心をとらえて鑑賞文に表すことができる。 修学旅行の思い出を、表現を工夫して俳句に表すことができる。
	メディアとわたしたち、パネルディスカッションをしよう		論理の展開に沿って内容を読み取り、メディアと日常生活の関わりを理解することができる。 メディアの特性を理解し、情報を自分の生活に役立てようとする。 根拠を明らかにして自分の意見を述べるすることができる。
	漢字の学習		新出漢字を正しく書いたり熟語を探したりすることができる。
	2	助詞・助動詞、平和を築く、地雷と聖火	
ありがとうと言わない重さ			筆者の推論や判断を表現に即してとらえ、事柄の対比を明らかにして読むことができる。 要旨をとらえ、筆者の意見に対する自分の考えを表現することができる。
和歌の世界 おくのほそ道			和歌の中の語句の効果的な使い方を理解し、情景や心情を思い描くことができる。 選んだ和歌について、その歌が生まれた状況や背景を想像しながら鑑賞文や物語が書ける。 古文のリズムを味わいながら繰り返し音読し、冒頭部分を暗唱している。 古文独特の表現に注意し、作者のものの見方や考え方をとらえることができる。
猫、初恋、たしかな表現のために			積極的に討論に参加し、互いの共通点や相違点を聞き分けて自分の考えを深めることができる。 詩のリズムを生かし、工夫して朗読することができる。 敬語やことばのきまりが、文の意味や表現・話し手の気持ちと結びついていることを理解できる。
漢字の学習			新出漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
書き初め			行書の特徴について理解を深め、文字の大きさや配置を考えて書くことができる。
未来の花たちへ			比喩表現やキーワードを手がかりに、筆者の思いを的確にとらえることができる。 「自分色」についての文章を書くことで、自分のものの見方や考え方を深めることができる。
3	故郷 風景から学んだこと		過去と現在を対比させ、社会と人間との関わりについての作者の考えを読み取ることができる。 20年後の自分の生き方について考え、希望に満ちた文章を書くことができる。 中学校での体験を通して学んだことをスピーチし、互いに学び合うことができる。
	漢字の学習 読書		新出漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 中学校生活において本から得たものを振り返り、これからの生活に生かそうとしている。

(2) 社会科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標		
1	わたしたちのくらす地球		世界全図の略地図を書いたり、世界旅行を企画する活動に意欲を持って取り組むことができる。 標準時や時差のしくみについて考えられる。 地図帳を参考に、略地図を書いたり、インターネットや地図を使って世界の国々の情報を得られる。 地球儀や地図の見方、時差の計算、大陸と大洋の名称など知識として身に付けている。		
		世界の国々の構成と地域区分		国名知識の身に付け方を自分なりに工夫する活動に意欲的に取り組むことができる。 世界各地の国境線を見渡し、国境線はどのように引かれたか考えることができる。 地図帳を効率よく使って、国の名称と位置を探ることができる。 6つの州の位置と名称を正確に理解している。	
			世界の国から見た日本の位置		日本の位置を、地球儀や地図を使って、多面的に調べようとしている。 日本とそのまわりの国々の関係を、地図を活用し距離や方位などの面から考えられる。 世界各国の地図などの資料を活用し、日本の位置を様々な方向から探しだすことができる。 日本の国土や領域をめぐる問題について理解することができる。
				文明のおこりと日本の成り立ち	
	古代國家の歩と東アジア世界		現代に残る古代の文化財等に関心をもち、それらをとらえて古代の日本の様子を意欲的に学習しようとしている。		

2	身近な地域の調査	聖徳太子の政治から、大化の改新を経て確立した律令国家が、どのような政治をめざしたかを考えることができる。
		中国の文献や歴史地図を活用して、古代におけるわが国と東アジアとのかわりを調べることができる。
		聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の確立、摂関政治などを理解することができる。
		日本の略地図を描くことができる。また、意欲的に県名調べに取り組める。
		社会的な見方にとって、調査可能な課題を立てたりすることができる。
		まとめに必要な資料を効率的に収集し、まとめの手順に基づいて工夫して作業できる。
	武士の台頭と鎌倉幕府	縮尺や地図記号、等高線等の基本的な地図の読図について理解している。
		武士のおこりや鎌倉時代の武士の生活について意欲的に調べることができる。
		絵資料をもとにして、武士の館の特徴を的確に考え、まとめることができる。
	東アジア世界とのかわりと社会の変動（室町幕府）	鎌倉幕府のしくみを調べて略図にまとめることができる。
		武士のおこりや鎌倉幕府の特徴、文化について理解している。
		元の大襲来や鎌倉時代の騒乱、戦国武将について意欲的に調べることができる。
日本のすがた	書院造の写真から現代生活との共通点がわかる。	
	鎌倉・室町幕府のしくみを比較したり、戦国武将についてのレポートをまとめることができる。	
	元の大襲来や室町幕府のおこり、下克上の世、室町文化について理解している。	
3	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	日本の国土や周囲の国々、国境について興味を持って調べることができる。
		写真資料と領域についての資料を使って沖ノ鳥島を守る意味を調べることができる。
		日本の国土や周囲の国々、海や領域について理解している。
		戦国の動乱とヨーロッパ人の来航に対し関心を高め、その背景を積極的に追究しようとしている。
	近世の日本（江戸幕府）	兵農分離と朝鮮侵略についてその概要を多面的に考察しようとしている。
		ヨーロッパ人來航の背景や桃山文化について、様々な資料を活用してまとめることができる。
		ヨーロッパ人來航の背景、信長・秀吉の統一に向けての政策、桃山文化の特色を理解している。
		豊臣秀吉、徳川家康をはじめ、政治・経済・文化等の面で活躍した人物に関心をもち、それらの人物をとおして、近世の様子を進んで調べようとしている。
	福岡県・東京都	経済の発展にともなう社会の変化に幕府や藩はどのように対応すべきかを考察することができる。
		地図や資料、グラフなどを活用し、幕府のしくみや社会の変化の様子などを読み取ることができる。
		江戸幕府の学習をとおして、近世の社会のしくみや文化などを理解することができる。
		福岡県や東京都の地域的特色を資料を使って意欲的に調べることができる。
		八幡製鉄所の立地理由や東京の人口問題の原因を資料から考えることができる。
		資料から読み取ったデータを正確に扱うことができる。
		福岡県の東京都の自然、産業等の地域的特色について理解している。

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	多様な地域から構成されるアメリカ		アメリカの自然や地形、工業や農業について意欲的に調べたり、発言できる。
			地図資料を使って、アメリカの工業立地の特徴を考えられる。
			アメリカについて学習したことを、イラストマップにまとめ発表できる。
	多様な文化と変容するマレーシア		アメリカの自然や地形、工業や農業について理解している。
			写真や地図、読み物資料等を使って、マレーシアの特長について調べたり、発言できる。
			天然資源を生かした産業から工業中心の産業へ変わった理由を考えられる。
欧米の進出と日本明治維新		輸出品目についての帯グラフを作り、特徴を読み取ることができる。	
		マレーシアの自然や人口構成、産業、貿易について理解している。	
		欧米の発展や日本の開国、明治維新について意欲的に調べることができる。	
		資料を使って殖産興業政策の特徴をつかむことができる。	
2	地域との結びつきを強めるフランス		文明開化について工夫してまとめ、発表することができる。
			欧米の発展や日本の開国、明治維新、大日本帝国憲法について理解できる。
			写真や地図、読み物資料等を使って、フランスや周辺諸国の特徴について調べたり、発言できる。
			フランスに観光客や外国人労働者が多い理由を考えられる。
	日清・日露戦争と近代産業		テーマを決めて調査する課題解決学習の方法を理解し、レポートにまとめることができる。
			フランスの自然や人口構成、産業、貿易について理解している。
			日清・日露戦争や日本の産業革命について意欲的に調べることができる。
			下関条約とポーツマス条約の違いについて資料から考えられる。
	第一次世界大戦とアジア・日本		グループで学習した内容をまとめて発表できる。
			日清日露戦争の経緯や近代産業の特徴を理解している。
			第一次世界大戦について参戦国の状況と日本の戦争の影響について意欲的に追究しようとしている。
			大戦後の国際協調の動きを通して、その特色を多面的に考察し、適切に判断している。
世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦		大戦前後の国際情勢と我が国の国民の政治的自覚に関する資料を適切に収集、活用することができる。	
		大戦前後の我が国の動きと世界の動きのあらましを理解し、国民の政治的自覚の高まりに気づくことができる。	
		昭和初期から第二次世界大戦までの我が国の歴史のあらましと世界の動きについて関心をもち追究しようとしている。	
		戦争への経緯を経済的な側面などから多面的に考察し、公正に判断している。	

3	日本のすがた	昭和初期から大戦前までの我が国の歴史と世界の動きに関する様々な資料を収集し、活用することができる。
		昭和初期から大戦前までの我が国の歴史のあらましを、世界の動きと関連させて理解することができる。
		日本の国土や周囲の国々、国境について興味を持って調べることができる。
		写真資料と領域についての資料を使って沖ノ鳥島を守る意味を考えることができる。
	世界から見た日本のすがた	地球儀、世界地図、日本地図から、海洋や大陸、島の名称や主な山脈、海溝、火山の分布、平野、河川などを読み取り、白地図などにまとめることができる。
		日本の国土や周囲の国々、海や領域について理解している。
		産業や人口等に関して、表の読み取りを積極的に発言したり、分布図等を提出できる。
		工業地域の分布図から、日本の工業立地の特徴を考えることができる。
		日本の土地利用図や人口ピラミッドから農業分布や人口構成の変化を読み取ることができる。
		京都や沖縄に関する知識や人口、産業、資源、交通等に関する知識を十分に身につけている。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	人間の尊重と日本国憲法		個人と身近な社会集団とがどのようにかかわっているか、規則やルールにはどのようなものがあるか、具体的に考えたり、考えを発表したり出来る。
			基本的人権にかかわる問題を、参考資料や日本国憲法をもとに考えることができる。
			参考資料を的確に使ったり、発表内容を工夫して発言できる。
	現代の民主政治と社会		日本国憲法の基本的な原則や憲法で認められている基本的人権の内容を理解できる。
			政治のしくみに関心を持って学習に取り組み、国会や内閣、裁判所について意欲的に調べようとしている。
			衆議院の優越の理由など国のしくみの特徴について考えることができる。
2	日本国憲法 地方政治と自治		全文筆写をとおして、国の最高法規である日本国憲法に関心をもつことができる。
			地域の政治に興味や関心を持って取り組むことができる。
			国の行政改革や地方分権の問題点を考えることができる。
	わたしたちの暮らしと経済		直接請求権を調べてまとめることができる。
			地方公共団体の仕組みや直接請求権について理解している。
			市場経済の仕組みや金融、財政、社会保障についてプリントにまとめることができる。
3	地球社会とわたしたち		日本の社会保障制度について理解し、今後のあり方について自分なりの考えを発表できる。
			消費税に対する、賛成・反対意見をレポートにまとめることができる。
			市場経済の仕組みや金融、財政、社会保障について理解している。
	3年間のまとめ		世界の環境や人口・食料・地域紛争の問題について真剣に考えることができる。
			地球環境問題に対して、日常生活の中でどのように取り組んでいったらよいか、自分の考えをもつことができる。
			世界のエネルギー事情図や各地域の国際組織図、国際連合の組織図等から必要な情報を読み取ることができる。
		地域紛争や民族問題等の解決のために国際連合が果たしている役割について理解できる。	
		目標をもち、意欲的に3年間のまとめをしようとしている。	
		地理・歴史・公民の学習内容をおおよそ理解している。	

(3) 数学科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	1章 正の数と負の数 ・正の数負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法		加減乗除の計算に関心をもち、すすんで能率的な計算の仕方を調べたり計算しようとする。
			加減の混じった式を正や負の項の和としてとらえることができる。四則を加法と乗法に統合してとらえることができる。
			「負の数の扱い方」「加法、減法、乗法、除法の計算」「加減、乗除の混じった計算」「四則混合計算」ができる。
			「正負の数の意味」「加法、減法、乗法、除法の計算方法」「四則混合計算の方法」がわかる。
2	2章文字と式 ・文字と式 ・1次式の計算 ・等式		文字に興味関心をもち、そのよさを認め、計算したり数量関係を文字で表そうとしている。
			具体的な数量を文字式に置き換えて、数学的に考察することができる。
			1次式の計算、式の値、数量関係を等式に表すなどのことができる。
			文字式を表すきまり、1次式、1次の項、定数項、係数などの用語の意味を理解している。
3	3章方程式 ・方程式 ・方程式の利用		方程式を手際よく解こうとする。いろいろな問題を解決しようとする。
			方程式を使って具体的な問題を解くことができる。
			方程式を能率よく解くことができる。
			方程式とその解、等式の性質及び移項の意味、方程式の解き方の手順を理解している。
4	4章 比例と反比例		比例・反比例について、表・式・グラフなどを用いてその特徴を調べようとする。また、自ら進んで発言し、意欲的に授業に参加しようとしている。

3	・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用	具体的な事象の中にある2つの数量関係を変化や対応の様子に着目して調べ、比例・反比例の関係があることに気づく。
	5章平面図形 ・平面図形の観察 ・平面図形の作図	比例、反比例の関係を表・式・グラフなどで表現したり、その特徴を読み取ったりすることができる。
		変化や対応の仕方、グラフ、式など比例、反比例の特徴を理解している。
		作図に関心をもち、その図形が条件に適するものであるか否かを振り返って考えようとする。
		線対称、点対称の図形の考察や作図方法の考察とその活用について考えることができる。
	6章空間図形 ・空間図形の観察 ・図形の計量	線対称、点対称な図形をつくったり、作図の方法で角の二等分線、円の接線などの作図ができる。
		線対称、点対称の意味、作図の意味と方法を理解している。
		空間図形に関心をもち、観察、操作や実験を通して、その性質を調べようとする。
回転体のとらえ方、おうぎ形の考え方、表面積・体積の数理的な処理についての考え方がきちんとできている。		
	直線と平面の位置関係、立体の見取り図や展開図、おうぎ形や立体の表面積や体積を求めることができる。	
	立体の特徴、空間の位置関係、面積や体積を求める方法を理解している。	

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	1章式の計算 ・文字式の計算 ・文字式の利用		文字式の計算方法や文字式の利用に興味をもち、すすんで計算の仕方を調べたり、数量関係を考察しようとする。
			数量関係をとらえ、それを文字を用いて説明することができる。
			「多項式の加法と減法の計算」「単項式の乗法と除法」「等式の変形」ができる。
			単項式、多項式、項、係数、同類項、一次式、二次式などの意味がわかる。
2章連立方程式 ・連立方程式 ・連立方程式の利用			連立方程式を用いることよさに気づき、進んで解の意味や解き方を調べようとする。
			文章題において、数量関係をとらえ、2つの文字を用いて連立方程式を作り、適切な解答を求めることができる。
			加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。
			連立方程式とその解の意味、加減法や代入法による解き方がわかる。
2	3章1次関数 ・1次関数 ・1次方程式と1次関数		1次関数に興味を持ち、式や表やグラフを用いてその特徴を調べようとする。
			身近な具体的事象から1次関数を見出し、それを活用して諸関係を調べることができる。
			グラフをかく、グラフや条件から式を求める、グラフを使って連立方程式を求めることができる。
			変化の仕方、グラフのかき方、1次関数の意味、2元1次方程式のグラフのかき方がわかる。
3	4章図形の性質と合同 ・角と平行線 ・三角形の合同		図形の基本性質に関心をもち、これらを進んで見出そうとする。
			三角形の合同を使って証明ができる。
			図形の基本性質を利用し、具体的な角の大きさを求めることができる。
			三角形や多角形の内角と外角、仮定と結論、図形の合同の意味、三角形の合同条件を理解している。
3	5章三角形と四角形 ・三角形 ・平行四辺形		三角形や四角形の性質に興味を持ち、進んで調べようとする。また、自ら進んで発言し、意欲的に授業に参加しようとしている。
			観察、実験、操作によって見いだした図形の性質を演繹的に証明することについて、その意義やよさがわかる。
			二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件、平行四辺形の性質、条件を導き図形の性質を証明することができる。
			二等辺三角形の性質や直角三角形の合同条件、平行四辺形の定義や性質、等積変形について理解している。
3	6章場合の数と確率 ・文字式の計算 ・文字式の利用		数学的確率について興味関心を持ち、進んで確率を求めようとする。
			場合の数の数え方について、筋道を立てて考察することができる。
			簡単な事象について、樹形図や表を利用して、確率を求めることができる。
			場合の数を樹形図や表を使って、落ちや重なりがないように数えたり、数学的確率を求めたりする方法を理解している。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	1章式の計算 ・式の展開 ・因数分解 ・素因数分解		乗法公式の展開や因数分解の問題に積極的に取り組もうとする。
			整数の性質、数量関係の説明などに文字式を利用することができる。
			多項式と単項式の乗法と除法、乗法公式を利用した多項式の積と因数分解ができる。(2倍)
			多項式の積の展開の意味、因数分解や素因数分解の意味と方法がわかる。(2倍)
2	2章平方根 ・平方根 ・平方根の計算		新しく学ぶ数としての平方根や根号を含んだ式の計算に関心をもち、様々な問題を解決しようとする。
			平方根の大きさや近似値について考えることを通して、平方根が数であることを認めることができる。
			「平方根を根号で表すこと」「平方根の大小」「乗法や除法、加法や減法の計算」「根号を含む式の計算」ができる。
			平方根の意味、大小関係、性質、根号を含む式の計算の仕方について理解している。
2	3章2次方程式 ・2次方程式		因数分解や平方根を利用して、2次方程式を解く方法を進んで見出そうとする。
			具体的な問題を2次方程式に表し、問題の答えを導くことができる。
			因数分解や平方根を利用して、2次方程式を解くことができる。
			2次方程式とその解の意味や解き方を理解している。
2	4章関数		2乗に比例する関数やそのグラフの特徴について進んで調べようとする。

	・ 2 乗に比例する関数 ・ グラフ	身近な事象を 2 乗に比例する関数の考え方を活用して考察することができる。 グラフをかくこと、式を求めること、変化の割合を求めること、変域を求めることができる。 2 乗に比例する関数の意味、グラフのかき方や特徴を理解している。
	5 章図形の相似 ・ 相似な図形 ・ 平行線と線分の比	図形の拡大縮小、相似な図形の性質に関心を持ち、それを問題解決に活用しようとする。また、積極的に発言し、意欲的に授業に取り組もうとしている。 三角形の相似条件、平行線と線分の比、中点連結定理などを証明の根拠として活用することができる。 三角形の相似条件を使い証明することができる。性質や定理を用いて、長さや距離、線分の長さを求めることができる。 相似な図形の性質、三角形の相似条件、諸定理を理解している。
3	6 章三平方の定理 ・ 三平方の定理 ・ 三平方の定理の利用	三平方の定理を使って、いろいろな問題を意欲的に解こうとしている。 直角三角形を見だし、見方や考え方を駆使して、図形の計量を工夫して求めることができる。 三平方の定理を用いて、能率的に図形の計量処理することができる。 図形の性質を理解し、図形の計量において、三平方の定理を用いることができることを理解している。

(4) 理科到達目標一覧表

1 年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	植物の世界		植物について意欲的に調べようとしたり、自分なりの疑問を持つことができる。
			植物のつくりの共通性や相違点を見つげることができる。
			顕微鏡などの正しい使い方を身に付けている。
			植物について基本的な事項をつかんでいる。
1	身の回りの現象		光について関心を持ち、進んで調べようとしている。
			光について調べその規則性を説明できる。
			光の規則性を実験を通してみつけようとし、レポートにすることができる。
			光について、基本的なきまりを理解している。
2	身の回りの現象		圧力や大気圧の実験に意欲を持って取り組めた。
			圧力の決まりを理解し、計算で求めることができる。
			力を矢印を使って正しく表すことができる。
			力のあらし方や、2 つの力がつりあう条件を理解している。
2	身の回りの物質		気体の性質を意欲的に調べようとしていた。
			5 つの白い粉末の正体について、実験結果から予想することができる。
			ガスバーナーなど実験器具を正しく使い、見通しを持って実験をすることができる。
			身の回りの物質の性質について、基本的な事項を身に付けている。
3	大地の変化		自分の課題に従って大地の変化についてまとめることができる。
			ビデオから自分なりの課題が持てる。
			火山岩と深成岩のでき方の違いを説明できる。
			火山の形とマグマの粘りけの関係を説明できる。
3	大地の変化		粒の大きさから地層の場所を類推できる。
			地震の伝わり方の作図ができる。
			地震について基本的な事項を身に付けている。
			大地の変化について基本的な事項を身に付けている。

2 年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	動物の世界		動物の生活やその環境、体のつくりなどについて興味を持ち調べようとする。
			食物が体内に取り込まれる仕組みについて積極的に話し合ったり、発表したりする。
			血液の循環について各器官の働きと関連付けて考察できる
			だ液の実験から消化のしくみについて説明できる。
1	動物の世界		意識して起こす反応と、無意識に起こる反応の経路の違いを実験し確かめることができる。
			ヨウ素液とベネジクト液を使い、見通しを持って実験を行うことができる。
			動物の体のつくりと働きについて基本的な事項を身に付けている。
			動物の生まれ方、体温の変化などの違いを理解し、分類できる。
2	電流		電流回路を組み立て、意欲的に実験しようとしていた。
			実験結果から、電流の規則性を見つけ回路の計算もできる。
			実験装置を自分で組み立て、見通しを持って実験することができる。
			電流や磁界の決まりについて基本的な事項を身に付けている。
2	物質の変化		実験や理科ノートなどを意欲的に行おうとした。
			モデルで示された物質が何を表しているのかを、原子や分子と結びつけて考え、説明できる。
			分解の実験などを見通しを持って、安全に行うことができる。
			原子・分子の基本的な性質を理解している。
3	天気とその変化		自分の課題に従って天気について調べることができた。
			天気図を継続して集めて規則性を見つけられる。

3	飽和水蒸気量と露点から湿度を求めることができる。
	雲の発生について科学的に説明できる。
	高気圧・低気圧を説明できる。
	乾湿計から湿度を求めることができる。
	前線の仕組みについて理解している。
	気象全般の基本的な事項を身につけている。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	生物の細胞と増え方。		生物の細胞やふえかたの違いを意欲的に調べることができた。
			無性生殖と有性生殖の違いについて説明できる。
			タマネギの根の成長を調べ、レポートとして提出できた。
	運動と力		生物の細胞とふえかたの基本的な事項を身につけている。
			運動の様子を調べる活動を意欲的にとり組むことができた。
			運動の記録から、規則性を見つけることができる。
2	エネルギー		記録タイマーなどを正しく使い、記録をグラフにまとめることができた。
			運動についての基本的な事項を身につけている。
			エネルギーの変換についての実験を意欲的に考えていた。
	地球と宇宙		様々な形にエネルギーが変換されることを、実例をあげて説明できる。
			様々なエネルギーについて実験を通して調べることができる。
			エネルギーについて基本的な事項を身につけている。
3	科学技術と人間		太陽系の惑星について、意欲的に調べることができた。
			地球の動きによって起こる、太陽や星座の動きを説明できる。
			天球上にある太陽の動きの記録から、日の出の時間を予測することができる。
	自然と人間		宇宙についての基本的な事項を身につけている。
			省エネルギーに興味を持ち家庭で実践してみた。
			有効な資源利用についてリサイクルや省エネルギーの観点から考えることができる。
			新素材について自分なりのレポートをまとめ、分りやすく発表できた。
			エネルギー資源や新素材について基本的な事項を身につけている。
			食物連鎖について意欲的に調べようとした。
			自然界のつりあいについてグラフを読み考察できる。
			落ち葉を使った分解者の実験結果から決まりを見つけられる。
			自然界のつりあいについて基本的な事項を身につけている。

(5) 英語科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	Hello, English あいさつの仕方		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			アルファベット、単語、あいさつ表現等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			アルファベット、単語、簡単な指示表現を、聞く・読む活動から理解できる。
			アルファベットの読み方や音、ジェスチャー等を理解し、使うことができる。
	Unit 1 自己紹介の仕方		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			be動詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			be動詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			慣用表現の使用場面や表記方法を理解し、使うことができる。
	Unit 2 「これは/彼は～です」の表現の仕方		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			this, that, she, he, be動詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			this, that, she, he, be動詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。
2	Unit 3 「私は～が好きです」の表現の仕方		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			一般動詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			一般動詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
	Unit 4 「これは何ですか」の表現の仕方		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。
			はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			what, how, 第2文型等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
Unit 5 「数のきき方」		what, how, 第2文型等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。	
		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		How many, let's, 命令文等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
Unit 6		How many, let's, 命令文等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。	
			はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。

	「彼は～に住んでいます」	一般動詞の3人称単数現在形等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
		一般動詞の3人称単数現在形等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。
		単語練習に取り組むことができる。
	スプリングコンテスト(郡内統一の英単語100問テスト)	単語やその意味を書くことができる。
3	Unit 7 「今何時ですか」	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
		疑問詞のある疑問文等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
		疑問詞のある疑問文等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。
	Unit 8 「私の本はどこですか」	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
		疑問詞のある疑問文等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
		疑問詞のある疑問文等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。
	Unit 9 「彼は～をしています」	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
		現在進行形や命令文等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
		現在進行形や命令文等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
		慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。オーストラアに関する知識がある。
Unit 10 「私は～できます」	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
	助動詞や疑問詞のある疑問文等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
	助動詞や疑問詞のある疑問文等を含む英文を、聞く・話す活動から理解できる。	
	慣用表現の使用場面や新出文型の文法構造を理解し、使うことができる。	

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	Warm Up 英語でクイズ	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		スピーチやクイズの質問に適した表現を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		スピーチやクイズに必要な表現等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	
	Unit 1 be動詞の過去形「～でした」の用法	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		be動詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		be動詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	
2	Unit 2 未来形「～するつもりです」の用法	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		未来形、第3文型、第4文型等を用いて、会話表現や記述表現ができる。	
		未来形、第3文型、第4文型等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。入国審査について知識がある。	
	Unit 3 不定詞「～するための/～すること」の用法	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		不定詞の名詞・副詞的用法等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		不定詞の名詞・副詞的用法等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	
	Unit 4 「～しなければならない」の用法	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		助動詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		助動詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	
Unit 5 「もし～ならば」の用法	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。		
	接続詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。		
	接続詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。		
	新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。		
スプリングコンテスト	単語練習に取り組むことができる。		
	単語やその意味を書くことができる。		
3	Unit 5 「もし～ならば」の用法	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		接続詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		接続詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	
	Unit 6 「～があります」の構文	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		there is/are、動名詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		there is/are、動名詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	
	Unit 7 比較級と最上級の構文	はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		副詞・形容詞の比較級等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		副詞・形容詞の比較級等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。	

Reading	長文の内容を理解したり、音読する活動に取り組むことができる。
	登場人物の心情を表すように、発音やイントネーション等に気を付けて音読することができる。
	英文の内容を、聞く・読む活動から理解できる。
	慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	Warm Up 「日本文化の紹介」		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			国や文化の紹介に適した表現を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			国や文化の紹介に必要な表現等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。
1	Unit 1 受け身「～される」 の用法		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			受け身形等を用いて、会話表現や記述表現ができる。
			受け身形等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。点字について知識がある。
2	Unit2 現在完了形「～の 間・・・しています」		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			現在完了型等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			現在完了形等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。リサイクル活動について理解できる。
	Unit3 現在完了形「～した ことがありますか」		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			現在完了形・不定詞等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			現在完了形・不定詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。
	Unit 4 「どう～するか」の 用法		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			疑問詞+不定詞、it is for to等を用いて、会話活動や記述表現ができる。
			疑問詞+不定詞、it is for to等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解し、使うことができる。
Unit 5 「～された・・・」 の用法		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。	
		分詞の後置修飾や間接疑問文等を用いて、会話活動や記述表現ができる。	
		分詞の後置修飾や間接疑問文等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。	
		新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解することができる。	
スプリングコンテ スト		単語練習に取り組むことができる。	
		単語やその意味を書くことができる。	
3	Unit6 関係代名詞を用いた 表現  Speaking 「病院での会話表現 等」		はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。
			関係代名詞等を含む英文を、聞く・読む活動から理解できる。
			新出文型の文法構造や慣用表現の使用場面を理解することができる。
			はっきりとした口調で、他の生徒と協力しながら、コミュニケーション活動に取り組める。 場面に応じた適切な表現を用いて、自分の伝えたいことを表現できる。

(6) 音楽科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	学級の仲間と歌い合 わせる楽しさを表現 する		のびのびと明るい声で歌い、楽しみながら表現している。
			リズムの変化に関心を持ち、拍の流れにのって表現しようとしている。
			歌詞や曲の気持ちを感じ取り、表現に生かすように歌っている。
			楽曲全体のまとまりを考えて強弱増減を工夫し、表現練習をしている。
			リコーダーの運指や演奏技法を身に付けて表現することができる。
			楽曲の特徴をとらえてリコーダーの演奏技法を使い分けることができる。
	旋律やリズムの表情 を感じ取り、拍の流 れにのって表現を工 夫する		音楽の学習に関心をもち、課題意識をもって取り組んでいる。
			フレーズに着目し、変化や対比に即応してフレーズや楽曲全体を表現している。
			表現に関する諸記号を理解して歌うことができる。
			諸記号を理解し、フレーズや曲の山をとらえて表現することができる。
			楽曲の構成に着目し、伴奏リズムにのって曲趣を表現することができる。
			強弱増減の変化に気をつけて楽曲を聴き、表現の豊かさを味わうことができる。
歌詞の内容や楽曲の 特徴を味わい、その 表現を工夫する		学習の方法を理解し、自己課題の解決に向けて協力して学習している	
		旋律の役割を理解し、旋律の表情を表現しようとしている	
		歌詞の内容や楽曲の表情から曲の気持ちをとらえて表現している	
		楽曲全体のまとまりをとらえて表現しようとしている	
		表現目標の達成に向け、音程やリズム、強弱などを正しく表現しようとしている	
		リコーダーで派生音やブレス正しくフレーズを表現することができる	
		諸記号に注意し、曲想に合わせて表現ができる	

2	和声の美しさや充実した響きを味わい、表現を工夫する	他の声部との響き合いに留意し、自分の声を溶け合わせて表現することができる
		自らの合唱録音を、各声部や全体の響きをとらえて聴くことができる
		歌詞内容を理解し、情景を想像しながら歌おうとしている
		楽曲を特徴付けている音楽の要素をとらえながら聴こうとしている
		情景描写について意識しながら情景をイメージし、気持ちをこめて歌っている
		音楽の諸要素と曲趣の関連をとらえて聴いている
		半音程や高音の発声、音の重なりを意識して楽曲表現ができる
		楽曲を特徴付けるリズム・旋律・和音などの動きをとらえて聴くことができる
3	日本及びアジアの民族音楽の特徴を感じ取り、表現に生かす	日本の雅楽や民謡などに使われる楽器や編成・演奏方法等に関心をもって学習している
		楽器の歴史や構造・音階等を理解し、表現に生かしている
		雅楽における音楽の諸要素や工夫された表現方法について感得している
		旋律線の動きをとらえて曲想にふさわしい表現をすることができる
		日本的な楽曲表現の方法を理解して楽曲表現することができる
		日本やアジア諸国の楽器に興味・関心を持ち、課題をもって学習に取り組んでいる
民族楽器の特徴を、そのリズムや旋律などから味わうことができる。		

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	旋律の重なりや和音の響きの美しさを味わい表現する		自己課題の解決に向けて、協力して学習しようとしている。
			諸記号を理解し、表現力の基礎を身に付けようとしている。
			合唱の各パートの旋律に耳を傾けて、旋律の動きを感じ取るようとしている。
			多声・和声的な音楽の表現の違いを感得し、表現に生かそうとしている。
			旋律の動きを感じながら、多声・和声的な音楽をARで表現できる。
			楽曲の構成を理解し、他の旋律とのバランスを考えて歌うことができる。
	音楽家や作品に関する作曲者の意図・時代背景を理解して楽曲表現の豊かさを味わう		鑑賞により、多声・和声的な音楽を聞き分け、曲趣を味わうことができる。
			楽曲構成の異なる音楽に興味・関心をもって学習している。
			音楽家や作品の時代的背景を理解して表現の豊かさを味わうことができる。
			比較鑑賞によって鍵盤楽器の表現の違いや特徴を味わうことができる。
			音楽の表現の違いを比較・感得し、豊かな表現力を味わうことができる。
2	曲の構成による表現の違いを感じ取り、それを生かした表現を工夫する		自己課題の解決に向けて、他と協力して学習しようとしている
			楽曲の構成を音楽の諸要素から感じ取っている
			旋律の表情や歌詞内容・楽曲の構成からそれぞれの曲趣を感じ取っている
			フレーズの特徴をつかみ、その対比や変化を表現に生かすことができる
			旋律の表情や他の旋律とのバランスに気をつけて表現することができる
			リズムや旋律線の動きから楽曲の特徴を感じ取ることができる
	曲趣に合った表現を感じ取り、それを自己の曲想表現に生かす工夫をする		楽曲の構成を理解し、混声合唱の響きを味わうことができる
			自己課題を設定し、解決に向けて他と協力して学習しようとしている
			音楽の諸要素の動きや旋律の対比反復、楽曲の形式をとらえて聴こうとしている
			作品の主題をリコーダー等の楽器で、曲想を工夫して表現することができる
			交響曲・協奏曲等の仕組みを楽曲の構成や形式等の視点から聴くことができる
			楽器の音色や演奏形態などを理解し、楽曲の曲趣をほぼ聴き分けることができる
3	曲趣にふさわしい表現を工夫する		自己課題の解決に向けて、他と協力して学習しようとしている
			楽曲の構成を音楽の諸要素から感じ取っている
			旋律の表情や歌詞内容・楽曲の構成から曲趣を感じ取っている
			フレーズの特徴をつかみ、その対比や変化を表現に生かすことができる
			旋律線の動きをつかみ、その特徴を生かして表現することができる
			楽曲の構成を理解し、混声合唱の響きを味わうことができる

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	楽曲の構成を理解し、曲趣をとらえて表現力の豊かさを味わう。		自己課題を把握し、その解決に向けて学習している。
			音楽諸要素の動きや旋律の動きを感受し、表現に生かそうとしている。
			作詞者や作曲者の意図を理解し、豊かな表現力を味わうことができる。
			表現の基礎について理解し、歌曲表現の豊かさを味わうことができる。
	歌詞の内容や楽曲の諸要素から曲の特徴をとらえて表現する		表現活動に興味・関心をもって、意欲的に学習している。
			曲想をとらえて情景をイメージし、表現の方法を工夫している。
			表現に関する諸記号を理解し、曲の構成をとらえて表現することができる。
			強弱変化や旋律線の動きから曲想をとらえて表現することができる。
			楽曲のテンポを正しくとらえ、リズム・音程正しく表現することができる。
	フレージングと楽曲全体のまとまりを考えて楽曲にふさわしい表現を工夫する		自己課題の解決に向けて他と協力して学習しようとしている
			主旋律と副旋律の絡み合いを表現によって感得しそれぞれの表現を工夫している
			和音の響きを感得しその溶け合いを意識し充実した合唱表現をしようとしている
			音楽の諸要素を理解し、曲の構成をとらえた表現を工夫しようとしている

2		リズムの変化や旋律の動きをフレーズ毎にとらえその特徴に応じた表現ができる
		曲の山や形式など、楽曲全体の構成や歌詞内容をとらえて楽曲表現ができる
		指揮者の指示や伴奏の流れによって楽曲表現ができる
		和音の響きや合唱全体のバランスを聴き合って表現ができる
		互いの合唱表現を聴き合ってその表現の違いを聴き分けることができる
3	近代・現代音楽	鑑賞曲に興味・関心を持って学習しようとしている。
		楽曲表現の豊かさや工夫された表現方法が感得できる。
		楽曲の歴史的背景を理解して作品を味わうことができる。
		楽曲から現代的、地域的背景や民族的な特徴を理解して聴くことができる。
		演奏表現の巧みさをとらえて想像豊かに聴くことができる。

(7) 美術科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	鑑賞 色彩		色の仕組みや分類、色から受ける感じや一般的イメージを理解し感じ取れ効果について興味を持つことができる。
	卵のデッサン		鉛筆で5段階の明暗をあらわすことができ、滑らかな陰影を表現できる。
	レタリング		書体の持つ機能的な美しさを感じ、それぞれの特徴を捉えられる。
	平面構成		書体の特徴を理解した上で、直線や曲線をバランスよく描け、アクリルガッシュで美しく着彩できる。
2	素描（鉛筆デッサン・着彩デッサン）		形や色の組み合わせの美しさや面白さに興味を持ち、積極的に観察・表現に取り組める。
	塑造（野菜）		形の特徴を活かした単位形を作ることができ、構成の基本を踏まえた上で美しい画面構成をすることができる。
	鑑賞（ピカソの自画像）		モデルの色や形に関心を持ち、作品への働きかけができる。
3	塑造「りんご」		陰影や凹凸を探し、光の向きを意識できる。混色や重色で色作りができる。
	鑑賞 風流十二ヵ月		観察を踏まえた写実的表現ができる。
	鑑賞 東西の文化交流		粘土の特性を理解し適切に使える。
			観察の結果を表現に生かして丁寧に制作できる。
		作品と観察の関係についてピカソの初期、後期の作品を見比べ、想像、考察ができる。	
		塑造に興味を持ち、制作することができる	
		よく観察し、感じ取ったことを表現できる	
		粘土の性質を理解し、作ることができる	
		浮世絵に興味を持つことができる。	
		木版画に理解を深め、江戸時代の作品のよさについて考えることができる。	
		東西の文化交流に興味を持つことができる。	
		イスラム美術に興味を持ち、作品のよさについて考えることができる。	

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	奥行きのある平面構成		奥行きのある図に興味を持ち、透視図法を理解しようとするすることができる。
			透視図法を利用し、奥行き感を大切にしたい構成を考えることができる。
			美しい線や形が描け、アクリルガッシュを適当に使用できる。
			光により、色の明度の変化を利用して立体的な表現ができることに気づいて用いる事ができる。
2	人体クロッキー、鉛筆デッサン		骨格を理解し、四肢のつながりを意識できる。
	塑造		立体感やポーズによる奥行きを表現できる。
	鑑賞		素材に親しみ可塑性の感触を楽しみながら制作できる。
3	塑造「手」		躍動感あるポーズを考えられる。
	鑑賞 イタリア・ルネサンス		粘土の特性を理解し適切に使用しながらポーズによる造詣を生き生きと表現できる。
			絵画作品から作者の思いやテーマを読み取れ感想が持てる。
			塑造に興味を持ち、制作することができる
		自分の手をよく観察し、その特徴や美しさを表現できる	
		粘土の性質を理解し、作ることができる	
		ヨーロッパの絵画や彫刻に興味を持つことができる。	
		イタリア・ルネサンスに理解を深め、作品のよさや時代の変化について考えることができる。	

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	自画像		自画像を書くことに興味を持ち、作品を計画的に仕上げている。人物像を捉えようと、自らの心に働きかけができる。
			自分をよく観察し、特徴を捉えて描いている。表現したいイメージを効果的に表せる構図やポーズ、表情を考えることができる。
			構図や配色に気を配って、自分らしさを考えた、丁寧な表現ができる。

		互いの作品を鑑賞し合い、よさやその人らしさを見止められる。描かれた表情や仕草から心情を想像することができる。
2	水墨画	古来の描法や歴史に興味を持てる。
		さまざまな技法を理解し試すことができる。構図を工夫し、濃淡を効果的に使える。
		筆遣いを工夫し、のびのびと表現できる。
		特有の美しさを感じ取り、自分なりの感想が持てる。
3	篆刻(鈕)	篆刻に興味をもち、作品を計画的に進めることができる。
		石の特徴を生かして、創造的な鈕の構成ができる。
		石や道具の特性を生かして、丁寧に印面を仕上げることができる。
	字の特徴を生かし手、創造的な印面の構成ができる。	
デッサン	描くものを良く観察し、描くことに興味を持つことができる	
	バランスの取れた美しい画面作りができる	
	鉛筆を適切に使い、立体感や質感、陰影を表現できる	

(8) 技術家庭科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	物づくり		製作品の構想に関心を持って学習に取り組もうとしている。
			製作する際に、手工具や工作機械の使い方を工夫している。
			手工具及び工作機械の保守と事故防止ができ、組み立て、仕上げをする事ができる。
			基礎的な加工技術に関する知識を身に付け、加工の目的や条件と、工具の仕組みとの関係を理解している。
	私と家庭生活		自分の家族の存在に目を向け、見直そうとする意欲を持てる。
			家族一人ひとりの立場や役割に気づき、よりよい家族関係を築く方法を工夫できる。
			家族の機能や働きについてまとめられ、よい関係を築くために自分ができることを考えられる。
			家族の機能や働きについて説明でき、よりよい関係を築くための方法を理解している。
2	物づくり		製作品の構想に関心を持って学習に取り組もうとしている。
			製作する際に、手工具や工作機械の使い方を工夫している。
			手工具及び工作機械の保守と事故防止ができ、組み立て、仕上げをする事ができる。
			基礎的な加工技術に関する知識を身に付け、加工の目的や条件と、工具の仕組みとの関係を理解している。
	私たちの消費生活		商品をどのように選択・購入しているか振り返り、自分の消費行動に関心を持てる。
			日頃の消費行動を振り返り、商品の上手な選択・購入・活用を自分なりに考え、工夫できる。
			環境にも配慮した商品の選択・購入・活用について調べることができ、適切に行おうとする。
			販売方法、支払方法、消費者保護、環境との関係について知り、商品の適切な選択・購入・活用の仕方がわかる。
3	物づくり		製作品の構想に関心を持って学習に取り組もうとしている。
			製作する際に、手工具や工作機械の使い方を工夫している。
			手工具及び工作機械の保守と事故防止ができ、組み立て、仕上げをする事ができる。
			基礎的な加工技術に関する知識を身に付け、加工の目的や条件と、工具の仕組みとの関係を理解している。
	気持ちよく住む		住まいの機能や住まいと家族生活のかかわりについて関心を持つ。
			安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができる。
			安全で快適な室内環境を整える方法を調べたり、考えたりすることができる。
			住居の機能や安全で快適な室内環境の整え方について理解している。

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	物づくり		製作品の構想に関心を持って学習に取り組もうとしている。
			製作する際に、手工具や工作機械の使い方を工夫している。
			手工具及び工作機械の保守と事故防止ができ、組み立て、仕上げをする事ができる。
			基礎的な加工技術に関する知識を身に付け、加工の目的や条件と、工具の仕組みとの関係を理解している。
	私たちの食生活		日頃の食生活を振り返り、自分の成長に関わる食事について関心が持てる。
			中学生に必要な栄養素を考え、献立作成に活かそうとすることができる。
			中学生に必要な栄養素の種類や摂取量を活かした献立を作成できる。
			栄養素の種類や働きが理解でき、自分に必要な栄養素や食品がわかる。
2	コンピュータ		自分を表現する作品を意欲的に取り組む事ができる。
			様々なメディアを活用し、自分をわかりやすく表現する為のメディアを効果的に活用する事ができる。
			画像を正しく取り込む事ができ、自分を表現できる作品を作成する事ができる。
			自分の制作活動をまとめる事ができる。
	簡単な日常食の調理		安全面、衛生面を考えて計画的に実習しようとし、協力的な取組みをしようとする。
			能率的な作業方法や、分担、盛りつけなどを工夫できる。

		正しい計量、食器、器具の取り扱いができ、食品の特性にあった調理方法で行える。
		食品の調理上の特性、手順や要点を理解している。後始末の仕方がわかる。
3	コンピュータ	自分を表現する作品を意欲的に取り組む事ができる。
		様々なメディアを活用し、自分をわかりやすく表現する為のメディアを効果的に活用する事ができる。
		画像を正しく取り込む事ができ、自分を表現できる作品を作成する事ができる。
		自分の制作活動をまとめる事ができる。
	気持ちよく住む	住まいの機能や住まいと家族生活のかかわりについて関心を持つ。
		安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができる。
	安全で快適な室内環境を整える方法を調べたり、考えたりすることができる。	
		住居の機能や安全で快適な室内環境の整え方について理解している。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標	
1	物づくり		製作品の構想に関心を持って学習に取り組もうとしている。	
			製作する際に、手工具や工作機械の使い方を工夫している。	
			手工具及び工作機械の保守と事故防止ができ、組み立て、仕上げをする事ができる。	
			基礎的な加工技術に関する知識を身に付け、加工の目的や条件と、工具の仕組みとの関係を理解している。	
1	幼児期の成長と発達		写真などの資料から自分の幼児期を振り返り、関心が持てる。	
			資料や自分の発達の様子と対比させながら、幼児の成長、発達について考えようとする。	
			自分の幼児期について調べ、幼児の成長や発達の順序を考えることができる。	
			幼児の体の発達、運動機能の発達について理解できる。	
2	物づくり		製作品の構想に関心を持って学習に取り組もうとしている。	
			製作する際に、手工具や工作機械の使い方を工夫している。	
			手工具及び工作機械の保守と事故防止ができ、組み立て、仕上げをする事ができる。	
			基礎的な加工技術に関する知識を身に付け、加工の目的や条件と、工具の仕組みとの関係を理解している。	
2	幼児の発達に合った遊び		幼児の発達やそれに適した遊びやおもちゃについて興味を持ち、制作への意欲を持てる。	
			身近な材料でおもちゃを工夫し、また、幼児を喜ばせる遊び方を工夫できる。	
			身近な材料を使って幼児の発達に合った、幼児の喜ぶおもちゃを制作できる。	
			幼児の発達を促すおもちゃや遊びについて、制作を通して理解することができる。	
3	コンピュータ		自分を表現する作品を意欲的に取り組む事ができる。	
			様々なメディアを活用し、自分をわかりやすく表現する為のメディアを効果的に活用する事ができる。	
			画像を正しく取り込む事ができ、自分を表現できる作品を作成する事ができる。	
			自分の制作活動をまとめる事ができる。	
	3	幼児の食生活		幼児と積極的に関わろうとし、制作したおもちゃなどを用いてふれ合おうとする。
				幼児の喜ぶおもちゃを考え、遊び方を工夫しようとする。
		幼児の喜ぶ安全なおもちゃを制作でき、気持ちを考えた関わりができる。		
		幼児とのふれあいを通して、幼児の個性や気持ちを考えた関わりの大切さについて理解できる。		

(9) 保健体育科到達目標一覧表

1年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	体ほぐしの運動		仲間と協力してお互いの体の状態に気を配ったり、グループの仲間と安全に留意して運動しようとする。
			体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、目的にあった運動を選び、構成し活用しようとしている。
			体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりする事ができる。
			体ほぐしの運動や体力を高める運動の構成方法を知っている。
1	リレー		バトンパスの練習に互いに協力し、努力している。
			自分の能力に適した効果的な練習方法を取り入れられる。
			自分の能力に適したバトンパスのポイントをつかみ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。
			バトンパスに関わるルールや、スピードを落とさずパスを渡す重要性を理解している。
1	マット運動		用具の安全性を確かめ、仲間と協力して教え合える。
			倒立計、回転系の身のこなしに適切な判断を下せる。
			基本的な技を完成し、組み合わせで美しく演技する。
			身体の構造と機能を理解し、技の追求に役立てる。
1	陸上運動（長距離走）		長い距離を走ったり、競争や記録の向上に関心を持ち、学習に取り組もうとする。
			自分の能力に適したペースを考え、練習を工夫しながら計画的に取り組む事ができる。
			記録を向上させるため工夫して、長い距離を走ることができる。
			目標タイムに向けて、自己体力、走力を常に知ろうと努力している。
1	球技（サッカー）		サッカーの特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。

2	跳び箱	自分の能力に適した課題の解決をすることができる。
		サッカーの特性に応じた個人的技能を身につける。
		競技や審判の方法を理解し、知識を身につける。
		用具の安全性を確かめ、補助し合い進んで跳び箱に挑戦しようとする。
		よりダイナミックな技に向けて、助走への集中と強い踏み切りをめざしている。
3	武道（剣道）	空中姿勢の美しさと力強い表現を発揮する。
		跳び越し技と回転技の身体の使い方を理解して技に役立てる。
		剣道の特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。
		自分の能力に適した課題を理解し、解決することができる。
		剣道の基本的動作を身に付ける。
	跳び箱	剣道の特性や学び方、礼儀作法や伝統的な行動の仕方を理解する。
		用具の安全性を確かめ、補助し合い進んで跳び箱に挑戦しようとする。
		よりダイナミックな技に向けて、助走への集中と強い踏み切りをめざしている。
		空中姿勢の美しさと力強い表現を発揮する。
		跳び越し技と回転技の身体の使い方を理解して技に役立てる。

2年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	体ほぐしの運動		仲間と協力してお互いの体の状態に気を配ったり、グループの仲間と安全に留意して運動しようとする。
			体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、目的にあった運動を選び、構成し活用しようとしている。
			体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。
			体ほぐしの運動や体力を高める運動の構成方法を知っている。
	障害走		競争や記録の向上に関心を持ち、学習に取り組もうとする。
			自分の能力に適した高さやインターバルを考え、練習を工夫しながら計画的に取り組む事ができる。
			記録を向上させるため工夫して走ることができる。
	バレーボール		目標タイムに向けて、自己体力、走力を常に知ろうと努力している。
			チーム内での自己の役割を十分理解し、ボールをつなごうとする。
			スパイクを打つタイミングやトスの高さ位置を瞬時に判断する工夫をしている。
トス、スパイクの技能を高め、ゲームに生かそうとしている。			
2	陸上運動（長距離走）		攻撃完成はチームの共同作業であることを理解する。
			長い距離を走ったり、競争や記録の向上に関心を持ち、学習に取り組もうとする。
			自分の能力に適したペースを考え、練習を工夫しながら計画的に取り組む事ができる。
			記録を向上させるため工夫して、長い距離を走ることができる。
	球技（サッカー）		目標タイムに向けて、自己体力、走力を常に知ろうと努力している。
			サッカーの特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。
			自分の能力に適した課題の解決をすることができる。
			サッカーの特性に応じた個人的技能を身につける。
	バレーボール		競技や審判の方法を理解し、知識を身につける。
			チーム内での自己の役割を十分理解し、ボールをつなごうとする。
スパイクを打つタイミングやトスの高さ位置を瞬時に判断する工夫をしている。			
トス、スパイクの技能を高め、ゲームに生かそうとしている。			
3	球技（バスケットボール）		攻撃完成はチームの共同作業であることを理解する。
			バスケットボールの特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。
			チームの課題や自分の能力に適した課題の解決をすることができる。
			バスケットボールの特性に応じた個人的技能・集団的技能を身に付ける。
	武道（剣道）		バスケットボールの特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解する。
			剣道の特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。
			自分の能力に適した課題を理解し、解決することができる。
			剣道の基本的動作を身に付ける。
			剣道の特性や学び方、礼儀作法や伝統的な行動の仕方を理解する。
			剣道の特性や学び方、礼儀作法や伝統的な行動の仕方を理解する。

3年

学期	学習内容	観点	到達目標
1	体ほぐしの運動		仲間と協力してお互いの体の状態に気を配ったり、グループの仲間と安全に留意して運動しようとする。
			体ほぐしの運動や体力を高める運動の中から、目的にあった運動を選び、構成し活用しようとしている。
			体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。
			体ほぐしの運動や体力を高める運動の構成方法を知っている。
	陸上競技（種目選択）		選択した種目に積極的な練習計画でのぞむ。
		種目に適した練習計画や練習内容が組める。	
		自己の能力に適した技能ポイントをつかみ、記録や技能を高めると共に、選択種目を楽しむ。	

		選択した種目の特性やルールを理解できた。
	マット運動	用具の安全性を確かめ、仲間と協力して教え合える。 倒立計、回転系の身のこなしに適切な判断を下せる。 基本的な技を完成し、組み合わせて美しく演技する。 身体の構造と機能を理解し、技の追求に役立てる。
2	長距離走	体調管理につとめ、常に意欲を持ってのぞんでいる。 長い距離に対するバランスを考えぬく工夫をしている。 自己目標ラップタイムを冷静に刻める走力を身に付けようとしている。 目標タイムに向けて、自己体力、走力を常に知ろうと努力している。
	球技（サッカー）	サッカーの特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。 自分の能力に適した課題の解決をすることができる。 サッカーの特性に応じた個人的技能を身につける。 競技や審判の方法を理解し、知識を身につける。
	球技（バレーボール）	チーム内での自己の役割を理解し、互いに励ましあいながら練習している。 ゲームの中で常に攻撃を意識した動きをしている。 スパイクを打てるチーム作りを目指し基礎能力を高めようとしている。 バレーボールのルールを学習し、審判ができる。
	球技（バスケットボール）「選択」	バスケットボールの特性に関心を持ち、楽しみを味わえるように、進んで取り組もうとする。 チームの課題や自分の能力に適した課題の解決をすることができる。 バスケットボールの特性に応じた個人的技能・集団的技能を身に付ける。 バスケットボールの特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解する。
	ダンス（創作ダンス）「選択」	創作ダンスの特性に関心を持ち、仲間と共に踊る楽しさや喜びを味わえるよう進んで取り組もうとする。 グループや自分に適した課題を持ち、その課題解決をめざし、計画的に練習を工夫する。 イメージが人に伝わるように、体を思い切り動かしたり、感じを込めて踊ることができる。 イメージを自由に表現し踊るものであることを知る。
	球技（バレーボール）「選択」	チーム内での自己の役割を理解し、互いに励ましあいながら練習している。 ゲームの中で常に攻撃を意識した動きをしている。 スパイクを打てるチーム作りを目指し基礎能力を高めようとしている。 バレーボールのルールを学習し、審判ができる。
3		